

【意見の概要とそれに対する市の考え方】

No	意見の概要	意見に対する市の考え方
1	<p>一年間、お城山に登り、観光ガイドを務めたことから、利用者の様々な要望を聞きましたのでお伝えします。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・村上城跡（お城山）を利用する市民は多いが、その歴史や自然が有する価値を知る人は少ない。 ・環境整備が不十分である。登城道の整備や中世遺構散策コースの草刈りなど、誰もが歩きやすくなる環境整備が必要である。 ・石垣などの遺構の分かりやすい説明が必要。旧城下の門跡、堀跡、土塁跡等を示す標柱なども必要である。門跡の標柱などには消失しているものもある。 ・町屋巡りなどと一体化した散策コースの開設や観光ガイドとの連携が必要。 ・高齢の旅行者のための杖の常設が必要。 	<ul style="list-style-type: none"> ・村上城跡の歴史的価値につきましては、今後、情報発信の強化に努め、更に新しい価値の研究と発見にも力を注ぎます。自然が持つ価値につきましても、樹木や動植物等の専門家と連携を図り、その価値の発見と明示に努めます。 ・登城道の脆弱、歩行困難箇所については、通常の維持管理の範囲で、随時、点検を行い、改善に努めます。七曲り道につきましては、今後、複数年による修繕を実施する予定です。中世遺構散策コースの草刈りや安全点検につきましては、現在、定期的実施しておりますが、将来的にその範囲を拡大し、安全性を確保した上で、お城山東面の他の遺構についての顕在化を行い、見学ルートを開設する計画です。 ・山上や山麓の村上城跡に関する遺構解説板や標柱等につきましては、腐朽したものから順次、統一感のある丁寧なものへと交換し、必要な箇所には新設を行う予定です。 ・村上市観光協会などとも連携し、村上城跡、町屋巡りなどのイベント、更に、村上市郷土資料館などの周辺観光施設も含めた見学コースや見学プランを創出することで、城跡、イベント、施設それぞれへの来訪者の増加を図る必要があると考えています。また、その際には、対応できる観光ガイドの育成も必要と思われれます。 ・現在、村上城跡保存育英会などが、無料で使用可能な数本の杖を登城道入口に用意していますが、看板等の裏面に配置してあり、目立たない状況です。今後、市でも数を増やし、宣伝を行いたいと思います。

<p>・続日本百名城のスタンプ設置箇所の周知が必要である。</p>	<p>・現在、スタンプは、村上市郷土資料館、村上天跡保存育英会、東北電力ネットワーク村上電力センターの3か所に設置してあります。それぞれの施設入口での告知や、村上市ホームページなどで周知しておりますが、城跡の入口などにも設置箇所を表示する工夫を行いたいと思います。</p> <p>以上の事項は、すべて、史跡村上天跡保存活用計画に盛り込む予定で、概ね15年以内の実現を考えています。</p>
-----------------------------------	--